

株式会社坂本ストアー

佐賀県三養基郡みやき町

<http://www.sakamoto-store.jp/>



経営方針

食を通じて社会貢献をなす。

～食品をとおして、子供や高齢者、障がいをもつ人たち
それぞれの個性が活かせる地域づくりに貢献する～

店舗概要

創業年 1934年(昭和9年)
売場面積 323.1㎡(97.9坪)
従業員 15.3名
営業時間 10:00～20:30
定休日 なし
売上高 322,498(千円)

商品構成

青果 25.0%
鮮魚 23.0%
精肉 23.0%
食品 12.0%
菓子 5.0%
惣菜 8.0%
その他 4.0%

地域と共に生きる総合食料品店

[地元生産農家と連携し地産地消を推進]

地元生産農家と連携し学校給食へ食材の納品を平成21年に開始した。平成21年度は佐賀県(農業改良普及センター)が主催する、ふるさと食の日(学校給食に使用する食材の半分以上を地元産とする事業)に積極的に賛同し、参画した。隣接地の鳥栖市内の生産農家の農産物を仕入、地元小中学校に納品する仕組み(「鳥栖モデル」と呼ばれている)を造り、現在も鳥栖市内の生産農家10軒と連携している。

この鳥栖モデルをみやき町管内でも浸透させるべく、納入業者として生産者と給食現場の間に立って、奮闘努力している。「生産者には使う側の栄養士のことを考えて作付けしてほしい、栄養士には多少のバラつきがあっても許容してほしい。どちらかが上に立つ関係になってしまうと取組はうまくいかない。地場産品を給食に用いるには互いに一歩ずつ譲り合う姿勢が必要」と語り、学校給食の目処が立ったら次は保育園の給食も手掛けたいと先を見据えている。

[買物難民になりつつあった高齢者の不安と不満を解消]

買い物の注文・配達システムの導入。高齢化率29.5%(平成22年12月役場調べ)と高齢者世帯が多

いため、買い物された商品の配達サービス、電話での注文商品を自宅に届けるサービスを約5年前から開始した。現在電話注文を受け配達している顧客は約100軒になった(1週間に1回程度の頻度で宅配している)。

[地域社会に貢献]

社会科見学、職場体験の受け入れ。毎年10月頃に地元小学2年生の社会科実習で店舗見学を受け入れている。

また、地元養護学校の生徒(知的障害を持つ生徒)の職場体験の場として、毎年数名を3日間程度受け入れている。地域社会に貢献している。「社会で不要な人間なんて一人もない、ひとり一人の役割があるのだ」と仕事を経験させながら生徒達に話をすると、初日に返事も出来なかった生徒が、最終日には挨拶をするようになるまでに成長する。

佐賀県の地域資源である地元神社(綾部神社)でぼたもちを振舞っている(綾部神社にまつわる有名なぼたもち200個を当社で製造し、無償提供している)。綾部神社で毎年9月28日に開催される武者行列に社長自ら参加している。

病院施設への納め及びケータリングを実施している。特にケータリングはスポーツ大会や屋外パーティー、バーベキュー等のイベントで大学生を中心に利用者が増加している。

こうして自ら地域にはたらきかけ、食を通じた社会貢献を今後も目指している。



[社長を全面に出したイラスト付のチラシでPR実施]

表裏の2面刷りの広告だが、表面は通常の特売品等を掲載した、チラシとなっているが裏面に最大の特徴がある。

坂本社長をモチーフにしたイラスト入りの構成となっており、月に1回テーマを決め、給食、高齢化、教育問題などを自身の言葉で書き起こし作成している。

時にはストーリー仕立てにするなど坂本ストアの考え方を伝える最大のツールとなっている。



【店舗立地】

佐賀県みやき町は北部九州の中央に位置しており、なだらかな丘陵地帯と田園地帯に囲まれている。また、佐賀県東部の中核都市鳥栖市や福岡県久留米市に隣接している。

同店はみやき町の中央部に位置し、JR長崎本線「中原」駅から徒歩1分の距離に立地している。商圈範囲は約1kmであり、約2,400人の潜在顧客が存在し、週に1回以上の来店客は1,000人、内コア(核となる)客は300名である。宅配範囲は8~10km範囲である。

宅配顧客は約100軒が登録されている。

平成25年10月1日現在の佐賀県みやき町の人口は25,568人、世帯数は8,601世帯であり、人口・世帯数共に減少傾向にある

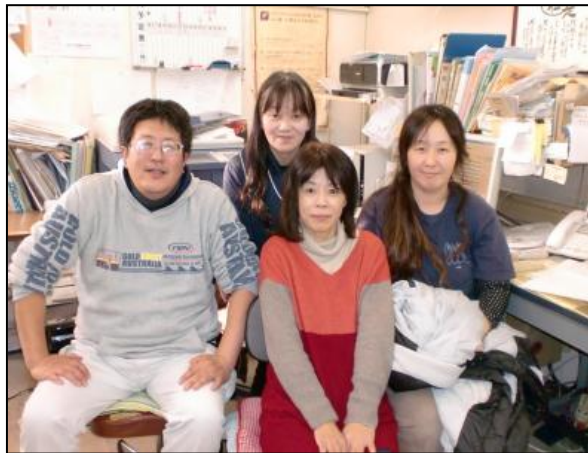
【店舗実績】

昭和60年大学後、坂本ストアー入社。平成6年7月、現在の店舗社屋完成。

店売りは売上全体の30%、給食納品(小中学校)や病院、介護施設、大学等への納め(約30軒)が70%を占めている。

競合が激しい為、現店舗開設当初から納めの割合を高めて行き、平成12年ごろには納めの割合が小売を上回るようになった。

経営者及び役員が店舗全体を統括し、社員2名が鮮魚部門、社員2名が精肉部門、社員3名が青果部門を担っている。パートが惣菜部門、レジ、宅配、事務部門を役割分担。



↑前列左から、代表取締役社長の坂本博敏さん、木村久美子さん
塚原園子さん 後列 富永淳子さん